

特 養

第1表

施設サービス計画書（1）

初回・紹介・継続

認定済・申請中

利用者名 A 殿 生年月日 大正8年 9月 日 住所 東京都
施設サービス計画作成者氏名及び職種 P (介護支援専門員)
施設サービス計画作成介護保険施設名及び所在地 特別養護老人ホーム Hホーム 東京都
施設サービス計画作成(変更)日 平成24年 7月 16日 初回施設サービス計画作成日 平成24年7月2日
認定日 平成 24年 2月 21日 認定の有効期間 平成24年 3月 1日 ~ 平成25年 2月 28日

要介護状態区分 要介護1 ・ 要介護2 ・ 要介護3 ・ 要介護4 ・ 要介護5 (その他:)

利用者及び家族の生活に対する意向
本人: 100歳まで元気で長生きしたい。子どもたちが心配しているので老人ホームにいるが、本当は家に帰って1人暮らしをしたい。
家族(長男): 入居して2週間が経ち、本人もHホームの生活に慣れてきたと思います。皆さんにご迷惑をおかけすると思いますが、こちらで皆さんと仲良く暮らしてもらいたいと考えています。
家族(長女): 今まで1人で頑張ってきましたが、ホームの生活の方が安心です。父の思いもわかりますが、Hホームで元気に暮らして欲しいと思っています。

介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定
特になし

統合的な援助の方針
・ホームの生活は、自宅で生活をされていたのとは違い、ご不便を感じていることがあると思いますが、ご本人のご意見を伺いながら、ご家族にもご協力いただき、ホームで楽しみを見つけ、安心して暮らしていただけるように職員全員で支援していきます。
緊急連絡先 長男 B (自宅) (携帯電話)
長女 C (自宅) (携帯電話)

施設サービス計画の説明を受け、同意しました。

平成 年 月 日

説明者 氏名(代理の場合は関係) 印

第2表

施設サービス計画書（2）抜粋

特 養

利用者名 A 殿

Table with columns: 生活全般の解決すべき課題(ニーズ), 援助目標 (長期目標, 短期目標), 援助内容 (サービス内容, 担当者, 頻度, 期間). Rows include goals like '100歳まで元気で長生きしたい' and '混乱した時は本人の思いを聞いてほしい'.

特 養

第3表

週間サービス計画表

利用者名		A 殿							主な日常生活上の活動
		月	火	水	木	金	土	日	
深夜	4:00	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	
	6:00	モーニングケア	モーニングケア	モーニングケア	モーニングケア	モーニングケア	モーニングケア	モーニングケア	起床
早朝	8:00	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	朝食
	10:00	預り証を確認	預り証を確認	預り証を確認	預り証を確認	預り証を確認	預り証を確認	預り証を確認	朝刊を読む・体操に参加 散歩・庭の水まき・お茶
午前	12:00	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴（火・金）
	14:00	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	昼食
午後	14:00	サークル（書道）			サークル（民謡）				サークル（週1～2回）
	16:00	食堂でおやつ	食堂でおやつ	食堂でおやつ	食堂でおやつ	食堂でおやつ	食堂でおやつ	食堂でおやつ	おやつ・お茶
夜間	18:00	宿泊確認をする	宿泊確認をする	宿泊確認をする	宿泊確認をする	宿泊確認をする	宿泊確認をする	宿泊確認をする	泊まるように勧める
	20:00	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	食堂で食事	ラウンジで晩酌 （家族来館）	食堂で食事	食堂で食事	夕刊を読む 夕食・晩酌（金） 部屋でTV視聴
深夜	22:00	ナイトケア	ナイトケア	ナイトケア	ナイトケア	ナイトケア	ナイトケア	ナイトケア	
	24:00	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	就寝
深夜	2:00	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	
	4:00	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回	

週単位以外のサービス 診察（月に1回）、家族との外出（不定期）、誕生日や慰問の時にはお祝い・お礼の言葉を述べる。

（注）「日課表」との選定による使用可。

第4表

日課計画表

特 養

利用者名		A 殿				主な日常生活上の活動	共通サービスの例
		共通サービス	担当者	個別サービス	担当者		
深夜	4:00	巡回	介護職員				食事介助 朝食 昼食 夕食 入浴介助（ 曜日） 清拭介助 洗面介助 口腔清潔介助 整容介助 更衣介助 排泄介助 水分補給介助 体位交換
	6:00	モーニングケア	介護職員	着替え・洗顔の声かけ・見守り		起床	
早朝	8:00	朝食準備	調理・介護職員			朝食	
	10:00	朝食・口腔ケア	介護職員	摂食量の確認・口腔ケアの声かけ		朝食	
午前	10:00	健康チェック・体操	看護・PT	朝刊を渡す、預り証を見せる。	事務職員	事務所で過ごす	
	12:00	入浴介助・お茶準備	介護職員	散歩・水まきの見守り		散歩・庭の水まき・お茶	
午後	12:00	昼食準備	調理・介護	入浴の準備・入浴介助		入浴（火・金）	
	14:00	昼食・口腔ケア	介護職員	摂食量の確認・口腔ケアの声かけ		昼食	
午後	14:00	サークル活動	介護職員	サークル活動の声かけ		サークル（週1～2回）	
	16:00	おやつ・お茶	介護職員			おやつ・お茶	
夜間	18:00	夕食準備	調理・介護	夕刊を渡す	介護支援専門員	夕刊を読む	
	20:00	夕食・口腔ケア	介護職員	摂食量の確認・口腔ケアの声かけ		夕食	
深夜	20:00	ナイトケア	介護職員	着替えの声かけ・見守り		晩酌（金）	
	22:00	巡回	介護職員	洗濯物を預かる		部屋でTV視聴	
深夜	24:00	巡回	介護職員			就寝	
	2:00	巡回	介護職員				
4:00	巡回	介護職員					
随時実施するサービス				困り事や混乱をしたときは話を聞き、解決する	施設長、事務長、事務職員、生活相談員		
その他のサービス		診察（月に1回）、家族との外出（不定期）、誕生日や慰問の訪問日にお祝い・感謝の言葉を述べ、100歳の記念日に備える。					

（注）「週間サービス計画表」との選定による使用可。

サービス担当者会議の要点

利用者名 A 殿 施設サービス計画作成者(担当者)氏名 P
 開催日 平成24年7月16日 開催場所 Hホーム 会議室 開催時間 14:00～14:45 開催回数 2回

会議出席者	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名
家族(長男)		B	生活相談員	O	管理栄養士	K
介護職員		T	看護師	S	介護支援専門員	P
介護フロアリーダー		Y	理学療法士	N		
検討した項目	1. Aさんの入居後のご様子について 2. (会議欠席)①Aさんの意向 ②担当医の意見 3. Aさんのケア方法について ①「家に帰りたい」とお話しされたとき②「通帳がない、銀行に行きたい」とお話しされたとき					
検討内容	1. 入居後13日が経過したので、入居後の様子を報告した。(抜粋) Aさんが不安になるのは、9時頃に「通帳がない」、17時頃「家に帰らせてほしい」、夕食時「酒がほしい」と話す時で、ちょうど介護職員が忙しい時間で、Aさんの話を聞けない時間に重なっている。 2. ①Aさんの意向：家で一人で暮らしていい。金銭の管理は自分でしたい。息子が管理をするなら、定期的に通帳の中身を見たい。晩酌をしたい。 ②担当医の意見：入居時の検診は異常がなかった。環境に慣れるまで不安状態が現れることがあると思うが、少しずつ慣れてもらおうしかない。晩酌は日本酒なら1合程度がよい。 3. ①「家に帰してほしい」と話した時 長男：ホームに入居することになった時、ずっとホームで暮らすと告げることができず、夏の暑い時期だけホームで過ごしてほしいと話した。 介護職員：家族からこちらに入居したことを伝えていただくことで、本人の気持ちが変わるのではないか。 ②「通帳がない。誰かにお金をおろされてしまう前に、△△町の銀行に行きたい。」と強い口調で繰り返し話された時 長男：通帳を失くしたことがあり、それから私が通帳を管理している。 以前から「年金を使い込んでいる」と言われた。その都度説明をしているが納得はしていない。私もうろくかからない。 介護支援専門員：本人は息子さんが通帳の管理をしていることを覚えている。定期的に通帳の確認をしたいと話しているので、通帳を持参してもらい、本人に確認してもらおう。長男が来館しない時には、「預かり証」を作成し見ていただき、納得していただけるか様子をみてはどうか。 ③職員はここにはお酒を置いていないと説明して、お預かりしているコーヒーをお出しすると納得する。 長男：入居前は毎日晩酌をしていたので、晩酌をしたいと思っっていると思う。 看護職員：夕食に晩酌をしていたら、同じフロアにアルコールを禁止されてほしい面もある。ご家族に協力してもらい晩酌の機会を提供できないか。 介護職員：晩酌の楽しみはお酒を飲むだけでなく、だれかに話を聞いてほしい面もある。ご家族に協力してもらい晩酌の機会を提供できないか。 2. 全職員で本人の話を受け止める。心配事が解決し、安心して生活ができるようになれば、意向が変わるかもしれない。 3. ①家族から入居になったと説明してもらおう。部屋の環境を自宅の環境に合わせ、不安を減らすために、Aさんの大切なものを持って来てもらう。 ②長男に通帳を持参してもらい、Aさんに見てもらおう。また、「預かり証」を作成し、お金のことを心配された時に見て納得していただく。 ③晩酌の機会を設ける。ご家族に協力してもらい、毎週金曜日の夕食の時間に晩酌を行う。施設長に飲酒することを伝え、許可を得る。 飲酒後は転倒のリスクが高くなるので、飲酒後の様子について、特に把握に努める。					
結論						
残された課題 (次の開催時期)	3について実行し、本人のホームでの生活の様子を観察する。 (1ヶ月後にモニタリングを行い、サービス担当者会議の時期を検討する。)					

施設介護支援経過

抜粋

利用者名 A 殿 施設サービス計画作成者氏名 P

年月日	内 容	年月日	内 容
24. 4. 10. (火)	<電話> 生活相談員から長男へ、入居の順番が来たことを伝える。		迎えに来て、ユニットでコーヒーを飲まれる。
24. 4. 14. (土)	<面接>本人宅 本人・長男・長女・生活相談員・介護支援専門員 予めご家族から入居について伝えてもらっていたが、ご本人は「そんなに心配することはない。私はここでどうにかやっている。」と話される。 生活相談員は居宅介護支援事業所の介護支援専門員と相談、ショートステイを利用しながら、入居に結びつけられるようにする。 <ショートステイ利用> 5/11～13 6/1～6/7 6/22～25 居宅介護支援事業所の介護支援専門員から情報を得て、生活相談員が短期入所生活介護計画書を作成、送迎時に本人、家族に説明して同意を得る。	24. 7. 10. (火) 17:00～18:10	<日常生活> 帰宅要求があり夜勤職員が対応をした。約1時間 ご本人とリビングで話した。夜勤職員が「今夜は仕事で、一緒に外出することができない。」と説明すると、本人は「仕方ない。」と話し、夕食を召しあがった。 <朝の申し送り> 入居して2週間になるため、Aさんのサービス担当者会議の開催を提案、家族に同席をしてもらい、今後の支援について話し合う機会を設けることにする。家族には生活相談員が連絡し、同意を得る。
24. 6. 25. (月)	<訪問> アセスメントを実施。(介護支援専門員・入居ユニット介護職員) ショートステイ利用により、施設の生活に慣れてきたと思われたので、入居に向けて担当介護職員とともにアセスメントを行う。 施設サービス計画作成のため、本人・家族の意向を確認する。	24. 7. 13. (金) 9:00	<初回施設サービス計画の評価と課題> ホームでの生活に慣れていただくを目的に、サービス計画を作成した。評価として、ご本人がホームで生活されることに納得されておらず帰りたいたいと話され、対応する介護職員も困難さを感じている。 課題として、自宅で続けてきた腕酌がホームでは人員やお酒の管理の面から対応できないこと、通感管理は長男が行っているが、本人には残高を見せておらず、権利擁護の面からも問題があることが挙げられる。 会議の前に、飲酒と金銭管理について施設長、生活相談員に相談、家族の管理機能をアセスメントし、可能であるなら家族に任せることにする。
24. 7. 2. (月) 11:00	<入居日> 本人・長男の妻・長女と来館。 契約後、居室のあるユニットへお連れする。ショートステイ利用時のユニットとは異なっていたため、最初は戸惑っていた様子であったが、他の入居者から話しかけられ、次第に打ち解けていく様子であった。 本人・家族に施設サービス計画を説明し、同意を得るが、本人は短期間の利用と考えている様子だったので、別室で家族から話を聞く。	24. 7. 16. (月)	<サービス担当者会議開催> (別紙 参照) 会議の後、長男から本人に入居になっていることを伝えてもらう。 話された頃を見計らい、見直した施設サービス計画を説明しに訪室する。 本人・長男とも表情が暗いが、長男が晩酌しに来てくれると伝えると、楽しみにされたのか、おつまみの話をされる。
24. 7. 9. (月) 9:10～10:10	<日常生活> 朝食後より「通帳がない。銀行に紛失届を出しに行きたいが、お金がないので電車賃を貸して欲しい。」と事務所に来られ、年配の事務長に話しかける。暫く事務長が話を聞き、10時に介護職員が		

施設介護支援経過

抜粋

利用者名 A 殿 施設サービスマニュアル作成者氏名 P

年月日	内 容	年月日	内 容
24.7.20.(金) 13:30～15:20	<来館>長女・長女の子(孫)自宅にあったテレビやゴルフの賞状、ゴルフ用具の模型、椅子を持参される。孫も同伴したので、「こんなりれしかったことは最近なかった。」と話していたという。 居室にはテレビが設置され、ゴルフの賞状が2枚飾られた。 長女が持参したケーキを3人で食べ、居室からは笑い声が聞こえていた。 長女から、父に仏壇を持ってきて欲しいと言われたが、置いてもいいかと聞かれる。生活相談員が火を使わなければ大丈夫ですと話す。	24.7.26.(木) 9:30～10:20	<日常生活> 事務所前で「〇〇銀行に行く。通帳を失くしてしまったので手続きに行きたい。」と興奮され大きな声で話していた。施設長が話を聞く。 故郷から身体一つで東京に出てきて、苦労しながら長年働いてきたことを話してくれる。職員が持ってきたコーヒーを飲みながら、「いつもこうやってだまされてしまう気がする。」と言いながら、自分の生い立ちや生活歴について話していた。 夜勤明けの職員が挨拶をして帰ろうとすると「御苦労さん。ゆっくり休んでな。」と声をかけ、通帳の話はしなくなった。
18:30～20:00	<来館>長男 長男はお酒を持参して来館。 生活相談員が長男を案内、ラウンジで長男と2人で、晩酌をしていた。 日本酒を1合飲んだ後、テレビを見ながら横になられている。 飲酒後の足元のふらつきが心配だったが、ふらつきせずに歩いている。	24.7.27.(金) 18:30～20:00	<来館>長男夫妻・友人 長男がご近所の友人を連れて来館。ラウンジで晩酌。介護支援専門員同席。 昨日お話しくださったことを家族に話す。「大変な時代でしたからね。苦労したんだと思います。」と話される。本人より民謡サークルで一緒にWさんも誘いたいと話され、Wさんも参加し、昔話や民謡を歌われた。 長男「このままホームに慣れてくれるといいのですが…。」と見守った。
24.7.22.(日) 14:00	<日常生活> 他の入居者家族と談笑、子どものことを聞かれ「貧乏暇なし、息子は今日も働いていますよ。」と話していたという。 夕方から帰宅要求があったが、ゴルフ中継が始まると、ベッドに寝転びながら、ゴルフが終わるまで見ていた。	24.7.30.(月) 16:30～16:50	<ケアカンファレンス・モニタリング> ①入居になったことを長男から説明してもらったことで、夏場だけ過ごすとは話されなくなったが、家が心配なのか、帰りたいと言われることがあある。長女とともに近々に外出の予定。 ②通帳については、長男が来た時に残高を本人に確認してもらったが、手元に持っていないと不安になるよう、事務所に預かり証を見に行っている。 ③晩酌は、飲酒後の転倒の心配と、長男の負担が増すことが心配であったが、お酒が強い様子で飲んででも変わらず、長男も楽しみにしている。
24.7.24.(火) 19:00	<朝の申し送り> 夕食時、晩酌の希望があった。お酒を用意していないと話すと、自ら冷蔵庫を開け、自分の名前が書いてあるコーヒーマグを取り出して飲んでた。その後は晩酌の希望がなく、夕食を召し上がった後は、食堂で夕刊を読んで過ごしていた。		